

メディア取材されました。



工藤院長のプロフィール・実績詳細はこちら

ドクターズファイル

<https://doctorsfile.jp/h/13970/df/1/>

東京ドクターサイト

<https://tokyo-doctors.com/dentalList/33115/interview/>

ドクターブック

<https://academy.doctorbook.jp/doctors/376#>

ホワイトクロス

<https://www.whitecross.co.jp/doctor-introductions/view/834>

朝日新聞 2023年12月21日

『歯茎のお悩みについて』

Q 50代女性です。最近歯茎が下がってきた気がして気になっています。原因は何でしょうか？これ以上下がらないようにするにはどうしたらいいですか？

A 最近歯茎が下がってきたとのことですが、歯周病で骨が溶けてしまい、歯茎が下がってしまうことがあります。特に、歯と歯の間で下がった場合は、原因が歯周病による可能性が高いです。歯周病専門医のいる歯科医院で適正な歯ブラッシングを受け、歯周病治療を受けることを強



くお勧めします。歯周病の進行を抑えることはもちろん、病状にもよりますが再生療法という歯周病で失った骨を再生させる治療法もあります。

また、歯の外側の中央の歯肉が下がってきているのは、歯肉退縮という状況です。この場合も、歯肉移植手術で回復できる可能性があります。

一度歯周病専門医のいるクリニックや、病院歯科で正しい診断と治療計画を聞いてみることをお勧めいたします。



プリズムタワー工藤歯科
院長 工藤 求

日本歯周病学会歯周病専門医・指導医
日本口腔インプラント学会インプラント専門医
日本臨床歯周病学会会員
東支部文献委員長
東京医科歯科大学歯周病科非常勤講師
2001年昭和大学歯学部卒
2009年目黒区にてプリズムタワー工藤歯科開業

朝日新聞 4月22日
『歯周再生療法について』

教えて! ドクター

+

Q&A

Q 歯周再生療法とはどんな治療ですか?

A 歯周病は歯周病原菌の感染と患者さんの免疫のバランスの崩れで発症するといわれています。歯肉炎から発症後、重症化して骨まで吸収(溶け始めた)し始めたのが歯周炎の状態です。一度歯周炎で溶けてしまった骨はなかなか元の状態には戻らないとされています。

しかし、1980年から研究が進んだ歯周再生療法は歯周組織(骨、歯根膜、歯肉、セメント質)を復活させることが科学的に証明されています。2023年まで世界中で多数の研究結果で裏付けされる再生療法には様々な種類があります。中

でも特殊な組織遮断膜という物を使うGTR法や、FGF2(線維芽細胞増殖因子)を用いた方法は国民皆保険適用があります。その他エナメルマトリックスデリバティブ(EMD)という薬剤を用いる方法など、保険適用外のものもたくさんあります。

歯周再生療法にご興味がある患者さんは歯周病専門医でご相談することをお勧めします。歯周病専門医は歯周再生療法ができることが認定専門医試験の中に含まれています。ただし、どこでどう治すかよりも、患者さんがなぜ歯周病になったかの原因を探し、原因除去と予防をすることもとても大切です。



プリズムタワー工藤歯科
院長 工藤 求

日本歯周病学会歯周病専門医・指導医
日本口腔インプラント学会インプラント専門医
日本臨床歯周病学会会員
関東支部文献委員長
東京医科歯科大学歯周病科非常勤講師
2001年昭和大学歯学部卒
2009年目黒区にてプリズムタワー工藤歯科開業

朝日新聞 12月23日
『歯周再生療法について』

教えて! ドクター

+

Q&A

Q 侵襲性歯周炎について教えてください。

A 10〜30代で発症し、急速に進行していく病態の歯周炎です。現在では2018年にヨーロッパ歯周病学会(EFP)とアメリカ歯周病学会(AAP)が共同会議で出した診断法となり、2019年日本歯周病学会、日本臨床歯周病学会はそれを受けて同年AAP、EFPの分類に加えて慢性、侵襲性という診断を併記することとしました(侵襲性ではない緩慢な進行の歯周炎は慢性歯周炎といわれていた)。

現在は侵襲性歯周炎の重症度をステージ1〜4に分類し、さらに進行スピードや修飾因子を加味したグレードA、B、Cに分類されています。

ます。比較的若く歯周炎が発症し、重症化し、進行スピードも重症度も高い病態で、多くは歯の欠損も伴います。次に患者さんが自覚できるその特徴を列記します。

①10代、20代からよく歯肉から出血したり、腫れたりしていた②家族に歯周炎と診断された事がある方がいる③最近半年以内に歯並びが崩れてきた④成人以降自然に歯が抜けた事がある⑤歯が20本未満しか残っていない⑥タバコを吸っている⑦糖尿病である⑧歯周病と言われて歯を失った事が1本以上ある

これらに当てはまる方は要注意です。歯周病専門医のいるクリニックの受診をお勧めします。



プリズムタワー工藤歯科
院長 工藤 求

東京医科歯科大学歯周病科非常勤講師
日本歯周病学会歯周病専門医・指導医
日本口腔インプラント学会インプラント専門医
日本臨床歯周病学会会員
関東支部学術委員長
日本矯正歯科学会正会員
日本歯科審美学会会員
2001年昭和大学歯学部卒
2009年東京都目黒区にてプリズムタワー工藤歯科開業



Q PMTCとは何でしょう。保険適用でしょうか。

A PMTCとは Professional Mechanical Tooth Cleaning の略です。つまり、歯科衛生士、または歯科医師という口腔ケアのプロが、機械的に歯の表面を清掃する方法です。具体的には研磨ペーストと、ラバーカップ

（ラバー・シリコンゴム製）やポリッシングブラシ（ナイロンブラシ製）と、いうような清掃器具が、歯の表面を回転しながら綺麗にする方法です。これにより、バイオフィルム、プラークといった歯の表面のバクテリアが住んでいるヌルヌルの層を

綺麗に落とすことができます。ホームケアで患者様が行う歯ブラシよりも、プロが隅々まで行うことで磨き残しなどが起こりにくい方法です。

また、クリニックによって、研磨ペーストの種類や研磨器具を豊富に揃えて、患者様の歯周組織に合った清掃器具で歯面清掃しているところが多いと思います。この方法は口腔内に歯肉炎、歯周炎という病気の診断がつかず、機械的歯面清掃という保険診療でできますが、研磨ペーストの種類、清掃器具、機械などシステムによって保険外診療にしているクリニックもあります。



プリズムタワー工藤歯科
院長 工藤 求

日本歯周病学会歯周病専門医・指導医
日本口腔インプラント学会インプラント専門医
日本臨床歯周病学会会員関東支部文献委員長
東京医科歯科大学歯周病科非常勤講師
2001年昭和大学歯学部卒
2009年目黒区にてプリズムタワー工藤歯科開業